

於

尚武軍司令部 平三田

尚武軍司令部

十一月廿五日

一、部隊ハ海上警我ヲ強化シタルモ、港内

ニ蠢動スル敵小型舟艇(特ニ奥雷艇)ヲ制圧

惠威セントス

二、海軍部隊長ハ技多因ヨリ差出サルル野砲隊

(重砲一内ト共)ヲ指揮シテ、屈大發ニ隻ニ

速射砲一内及重砲一内ヲ裝備海上警我隊

ヲ編成シ、小型舟艇(奥雷艇)ヲ制圧惠威

セントス

技多因重砲隊ノ指揮ニ因テハ相互密ニ連絡ス

三、技多因隊長ハ技多因ヨリ差出サルル重砲隊ヲ

併而指揮シテ、屈大發ニ隻ニ重砲一内及

重砲一内ヲ裝備海上警我隊ヲ編成シ、港内

ニ蠢動スル敵小型舟艇(奥雷艇)ヲ制圧惠威

セントス

技多因重砲隊ノ指揮ニ因テハ相互密ニ連絡ス

四、独立機砲隊ヲ七一中隊長ハ機砲二内及所要

人員ヲ準備シ、技多因隊長ノ指揮下ニ入ラシム

五、警我隊ハ別隊警我要圖ニ依ルベシ

六、細部警我口達ス

七、余ハ戰鬥司令ニ在リ

尚武軍隊長 光井大佐

下連隊要旨口達後事ニ付

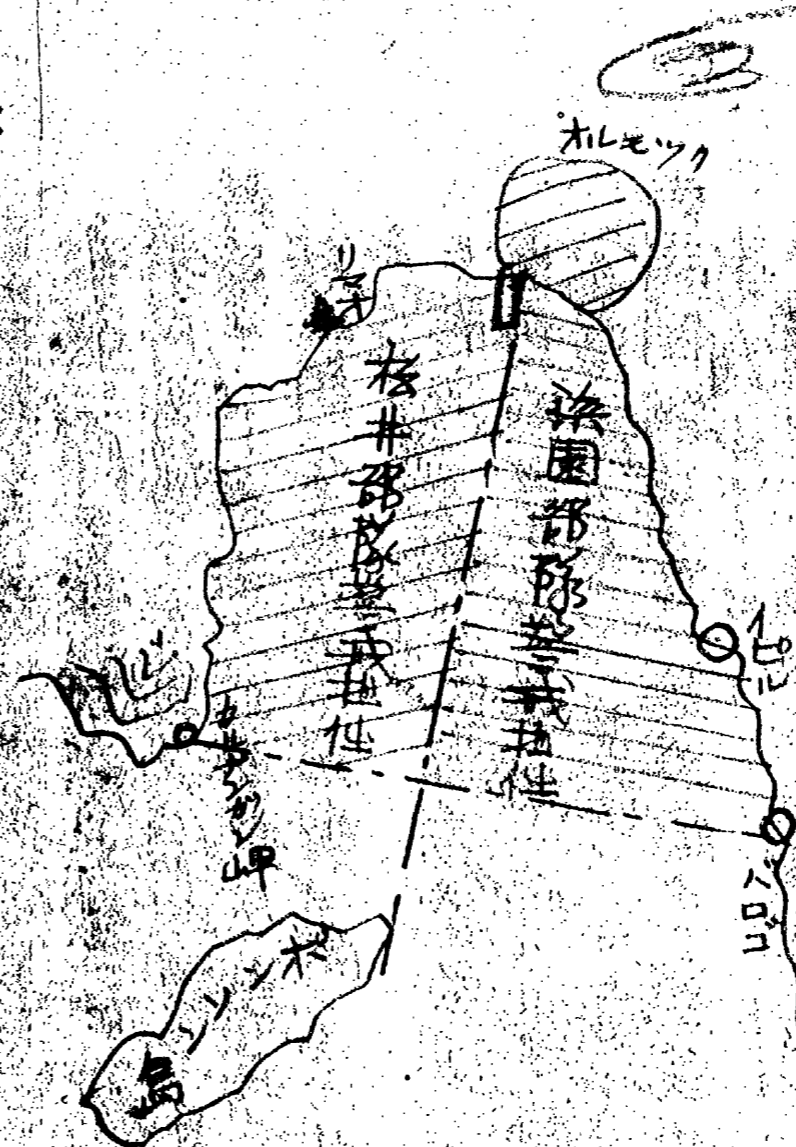
配布先 海軍部隊 技多因隊長 七一中隊

沿岸砲隊

尚武軍司令部

0673

尚船戰司作命甲末三四号ニ係ル別紙
一、 卷言戒地仕区域左記



二、 卷言戒地仕時間
毎日自一七〇〇至翌朝〇六〇〇

以上

0674

拾

尚船戰司作命甲五三三

尚船船隊命令

十一月十九日

陸軍

一、部隊ハ三五軍命令ニ依リガモテス群島附近

ノ海上警備ヲ強化セントス

二、船工六ホ一由戰補充隊長ハ或ル可ク速ニ

急カニ一小隊半ヲホソソシ島西方ニ派遣

シ主ニ同島附近ニ避洩スル舟艇ノ

掩護ニ任ゼシムハシ

三、余ハオレモツシ戦斗司令アリニ在リ

尚船隊長若井大佐

下達也 要ヒロ要報後詳記配布

配布先 此工ホ一補充隊、杉井部隊

報告先 三艇司 高

0675

加

尚艦隊司令官申才三右号

尚艦船隊命令

十一月十六日

陸軍

一 独之機肉砲隊を三中队同六五中队同七中队同七〇中队に改組す

二 獨之機肉砲隊を三中队同六五中队同八十一中隊同八十二中隊に改組す

三 獨之機肉砲隊を三中队同六五中队同八十一中隊同八十二中隊に改組す

四 獨之機肉砲隊を三中队同六五中队同八十一中隊同八十二中隊に改組す

五 獨之機肉砲隊を三中队同六五中队同八十一中隊同八十二中隊に改組す

六 獨之機肉砲隊を三中队同六五中队同八十一中隊同八十二中隊に改組す

七 獨之機肉砲隊を三中队同六五中队同八十一中隊同八十二中隊に改組す

八 獨之機肉砲隊を三中队同六五中队同八十一中隊同八十二中隊に改組す

九 獨之機肉砲隊を三中队同六五中队同八十一中隊同八十二中隊に改組す

十 獨之機肉砲隊を三中队同六五中队同八十一中隊同八十二中隊に改組す

十一 獨之機肉砲隊を三中队同六五中队同八十一中隊同八十二中隊に改組す

十二 獨之機肉砲隊を三中队同六五中队同八十一中隊同八十二中隊に改組す

十三 獨之機肉砲隊を三中队同六五中队同八十一中隊同八十二中隊に改組す

0676

控

陸軍

尚武戦司作命甲キニ

尚武船隊命令

十一月十九日二〇〇

一 明二十日夜SBニ隻「マニマ」ニ突入三時内ノ知ヲ揚陸ヲ実証ノ事

ナモ揚陸リハ「シンヤン」島ニ揚陸スルカウ命セラル

ニ 部隊ハ一部ノ大斧ヲ「マニマ」島ニ派遣シテ護衛揚陸ニ遣

送ナキヲ期セトス

三 陸軍部隊長ハ本十六日ニ陸軍機高ニテ將校ヲ指揮スル

大斧四ヲ「マニマ」島ニ派遣シテ同地ニ送ル

SBノ揚陸作事ニ任セムベシ

四 尚武船隊機内船中ニ未キ一各戰術先隊ノ「マニマ」島ニ

艦ト密ニ連絡スルヲ考ヘ船中ノ機中ニ向シテ金ヲ期セ

ルニ命ジ

五 尚武船隊ニ致テハ別ニ指テス

六 尚武船隊長 夫井大佐

下達セ要旨口書後事ニ配布

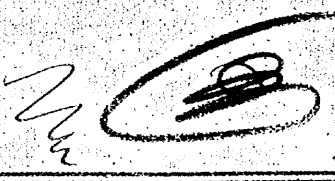
配布先 海軍部隊、核中部隊

尚武先尚

北京 小洋館

0677

No. 1



尚龍戰司令部中第三八部

尚龍船隊戰鬥司令部命令

十月十九日

一、我艦隊空軍部隊、敵艦隊及飛行場ヲ攻撃シ、戦果ヲ揚ゲンヤリ

二、吾団ト交戦中、敵ハ依然頑強ニ抵抗シテ、又ハ

集計シ、敵ハ兵力増強ヲ實施シ、スガキ海峡方面ニ

テ、敵艦隊ノ行動活発化ノ兆アリ

三、部隊ハ依然ローテ高射砲隊ヲ輸送シ、艦隊的

ニ處理スルト共ニ、東洋艦隊中、第三艦隊及高射砲隊中

第九六部ニ據リ、指揮下ニ送付スルニテ、

右記部隊ヲ、海軍指揮下ニ、東洋艦隊トナリ、

東側河川以テ、防衛ヲ担任シ、敵ノ上陸ヲ擧ル

以テ、警戒スルトス

左記

Handwritten signature or note on the right side.

陸軍

0679

No. 3

1. 各部隊ハ現在位置ヲ固守スルヲ以テ原則トス	2. 対空対海上警戒ヲ嚴シム	3. 各部隊位置ヲ所屬ノ陣地ヲ構築シ大カク 配置ス	4. 対空兵器ハ豫メ上陸スル敵ヲ射撃シ得ル如ク 準備ス	5. 防空兵器ハ砲臺ハ概テ現狀ノ儘トスルモ揚陸兵 ニ於ケル兵力ヲ發揮シ得ル如ク所屬ノ砲臺ニ 陣地ヲ交換ス	6. 連絡前シテ各部隊ノ機外ノ懸念ヲ視那ノ通信 現地所存資料ヲ以テスル儘ニ記テ予ニ依リテ連絡 ノ確保ニ努力セヨトス	7. 野中大隊ハハルハハル附近ニ兵力ヲ集結セヨトス 訓練ノ懸念ト共ニ何時ニテモ海上機動ヲ依リ
-------------------------	----------------	------------------------------	--------------------------------	--	---	---

陸軍

0681

尚船隊司令依命申第三八號

尚船隊司令依命申第三八號

一 我々の航空部隊ハ「レイ」等ハ敵艦艇及飛行場ヲ攻撃シ
戦果ヲ揚ゲツルアリ

五兵団ト交戦中ノ敵ハ依然頑強ニ抵抗シ「レイ」等ハ依然
ニ封シ敵ハ兵ヲ増援ス実地ニ「レイ」等ハ「梅」等面ニ於テ
敵艦艇ノ行動ヲ変化シ能アリ

二 部隊ハ依然「レイ」等ハ封シル快戦輸送ヲ電報的ニ処
理ス「レイ」等ハ封シ作命申第三ニ歸ス尚作命申

第九ニ歸ス「レイ」等ハ封シ下地ニ「レイ」等ハ封シ
左記部隊ヲ併セ指揮シ西地ニ隊トナリ「レイ」等ハ東

側河川以西ノ防衛提供シ敵ノ上陸地ニ擾乱攻撃
ヲ破挫セントス

左

記

依命申第三八號

「レイ」等ハ封シ
「レイ」等ハ封シ

「レイ」等ハ封シ

「レイ」等ハ封シ

「レイ」等ハ封シ

「レイ」等ハ封シ

「レイ」等ハ封シ

「レイ」等ハ封シ

「レイ」等ハ封シ

「レイ」等ハ封シ

左

記

一 各部隊ハ現在位置ヲ固守ス可ク以テ原則トス

陸軍

又防空対策上警戒ヲ嚴シラシム

3. 各部隊位置ニ所要ノ陣地ヲ構築シ其力ヲ配置ス

4. 防空兵器ノ疎ハ上陸スル敵ヲ射撃シ得ル如ク準備ス

5. 防空兵器ノ配置ハ概テ現状儘トスルモ揚陸突進於テハ火力ヲ發揮シ得ル如ク所要ニ應ジ陣地ヲ変更ス

6. 連絡ノ簡便ハ後方ニ據ルハ外他方視察哨(通信班)所駐在資材ヲ以テスル信託号爲トシ依リ連絡ノ確保ニ努ムルモノトス

五. 野中大隊ハ一〇〇〇附近ニ兵力ヲ集結セシメ訓練ニ勉ムルト共ニ何時ニモ海上機動隊トシテ要ニ得ル能ク戦フベシ

六. 余ハハルモツクノ戦中司令所ニ在リ

商船部長 光井大佐

下達伝 印刷セルモノヲ交付

配布先 隷(指揮)下部隊

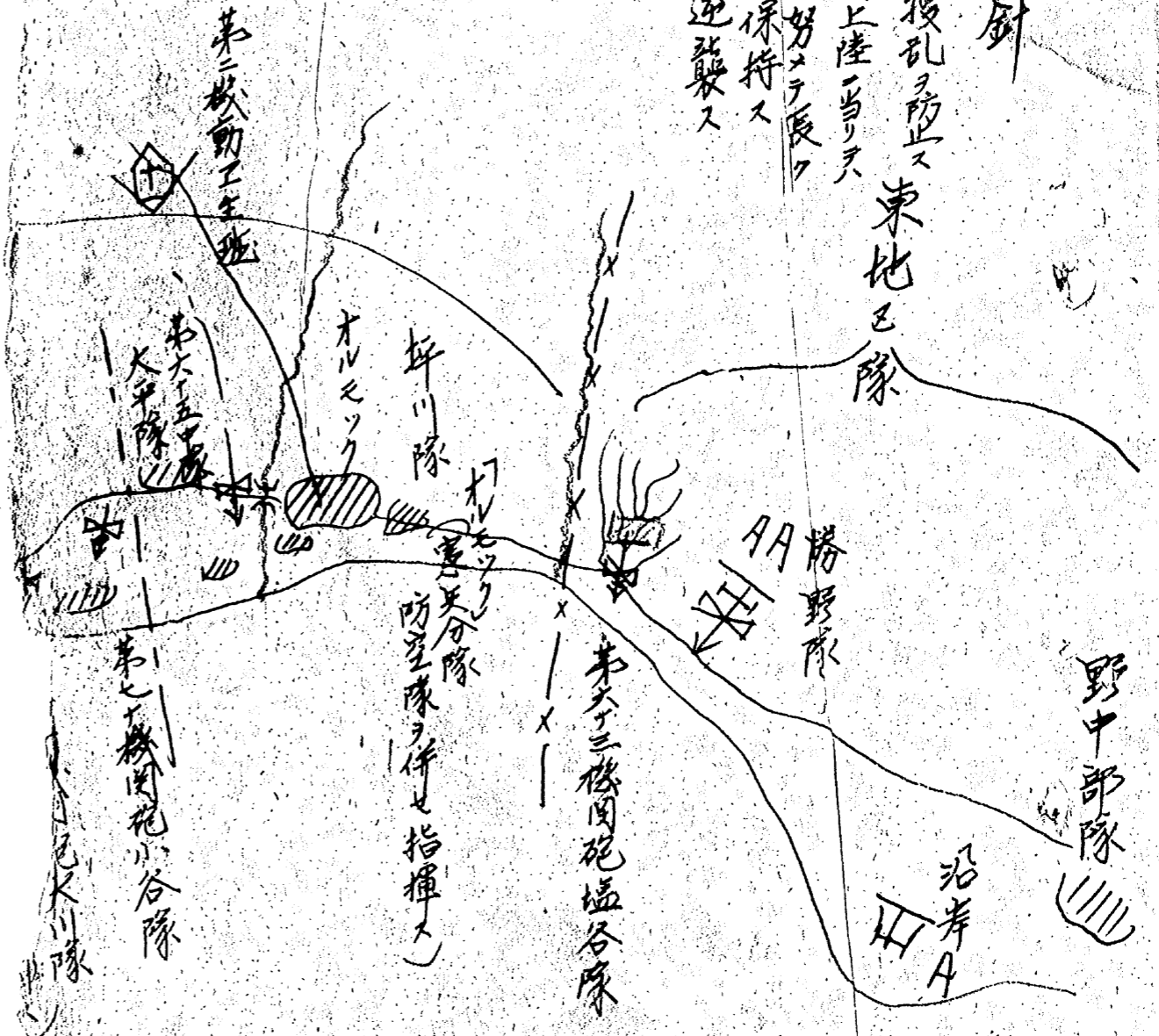
0684

19/11 尚船舶隊



西地部隊配樂

防禦方針
 一 敵海上擾乱を防止ス
 二 敵本格的な上陸を当りテ之ヲ防ぎ努力ヲ怠ラズ
 此陸地ヲ保持ス
 三 上陸ハ逆襲ス



0685

揚

尚形戦司作命申才四五号

尚形船隊命令

一、海軍輸送艦三隻 S.B 隻、本二十一日夕

アルバラニ突入、三ノ定ナリ

二、部隊ハ全能力ヲ以テ前攻艦艇ノ電索

揚陸ヲ実延セントス

三、本部揚陸隊主任ハ海園部隊長杉井

部隊長ハ全能力ヲ揚陸前攻艦艇ノ

電索ハ短切揚陸ヲ実延スバシ

尚作業係任区合ハ別紙圖表ニヨリシ

四、海園部隊長杉井部隊長ハ不要ノ

揚陸用大小舟ヲ本二十一日二〇〇〇迄ニ

アルバラ揚陸地真ニ四艘シ揚陸係ハ

アラシムハシ

陸軍

0686

者 世 務 細 部 二 因 ン 十 八 揚 陸 世 古 之 三 三

テ 指 示 之

六 余 八 本 二 十 六 日 一 八 〇 〇 換 付 世 出 余 ア ル べ ン

三 到 ル

尚 形 船 隊 長 光 井 大 佐

下 達 法 要 旨 上 達 二 西 軍 記 交 付

交 付 夫 本 部 一 海 軍 部 隊 松 井 部 隊

報 告 先 高

十 七 日 申 請 一 一 〇 〇 〇

陸 軍 部 隊 二 〇 〇 〇

海 軍 部 隊 一 〇 〇 〇

京 省 小 冊 納

0687

尚船戰司作命甲ヲ四六号

尚船舶隊命令

十一月二十七日一五〇
ホルモツク

0688

一、多号ヲ六次作戰輸送于一船団ニ隻(那悦夫
神祥夫)ハ明二十八日一八三〇ホルモツクニ突入
予定ナリ

二、部隊ハ全能力ヲ以テ前項輸送船団ノ完全
揚陸ヲ実証セントス

三、決團部隊長 松井 部隊長 本部揚搭掛主任
ハ別紙作業担任区分表ニヨルノ外左記ニ基
キ前項輸送船団ノ電索的短切揚陸ヲ実
証スベシ

左記

一、揚陸時間 十二時間以内トス

二、揚陸地臭 ホルモツク棧橋西北方約三KM附近

三、揚陸用舟艇 大小發ノ全量ヲ充當

船団入港前ニ揚陸古大ニ週航

揚陸態勢ニアラシムベシ

四、其ノ他 揚陸完了セバ速ニ

未完了船揚陸ニ相互協カスシ

五、其ノ他 油部ハ口達ス

五、余ハ明二十八日一八〇〇リマホ揚陸地ニ六三利ル

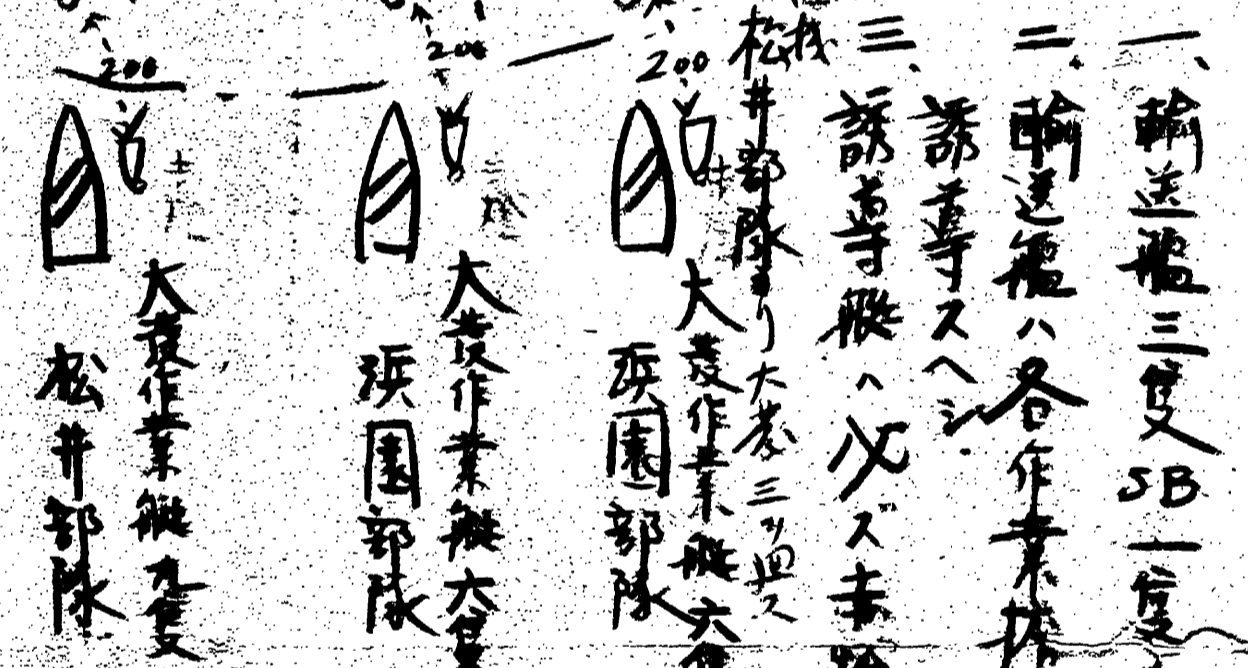
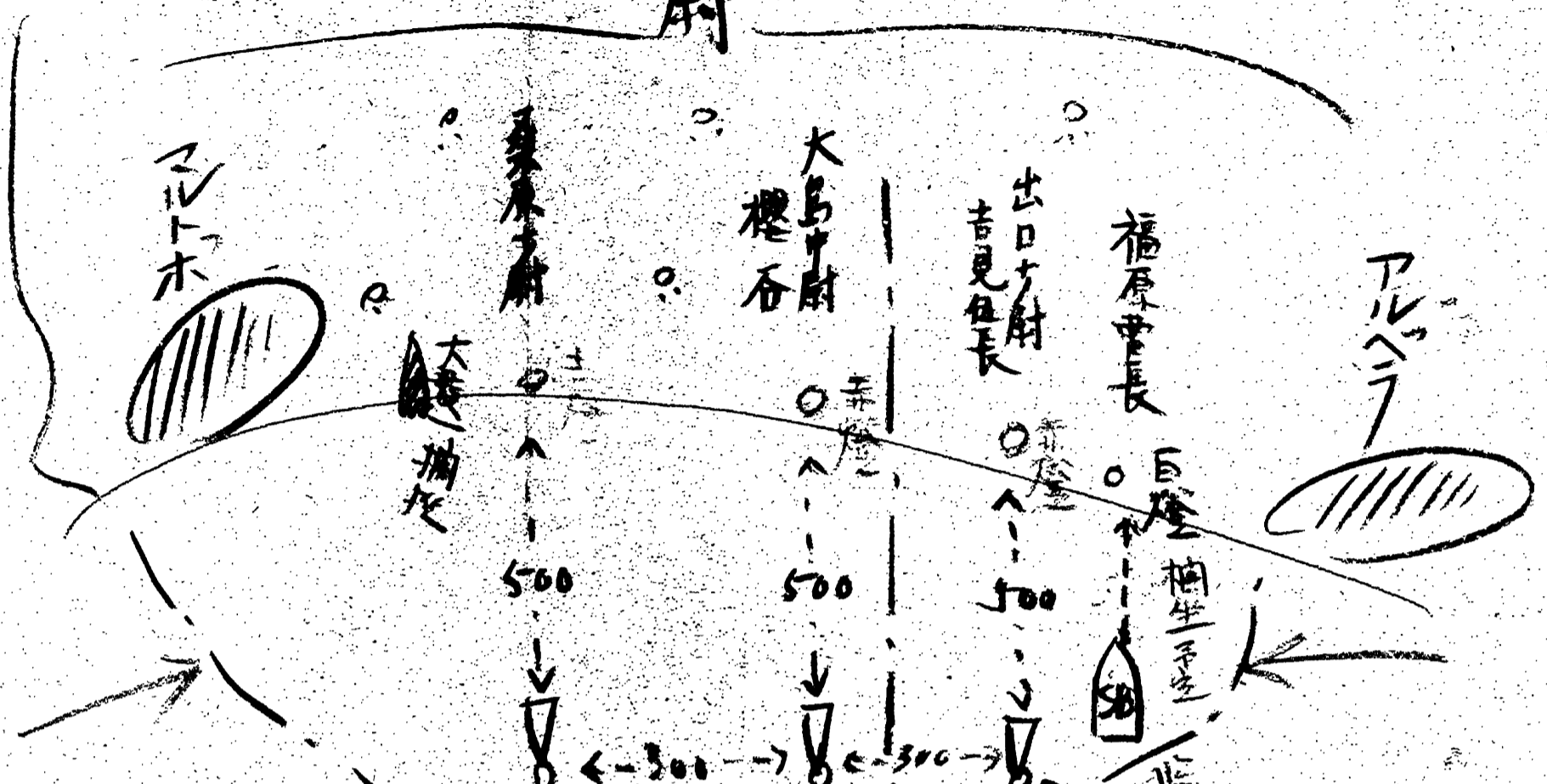
尚船舶隊長 光井 大佐

下達法 要旨口達後筆記配布

配布先 決團部隊 松井 部隊 揚搭掛

報告先 尚

大島中尉



- 一、輸送船三隻SB一隻 同時入港の場合
- 二、輸送船八隻作業艇任部隊ニ於テSB八隻富永中尉 誘導スヘシ
- 三、誘導船ハ必ず先着陸ヲ標示スヘシ

尚船戰司作命第46号別紙其二

揚陸物件

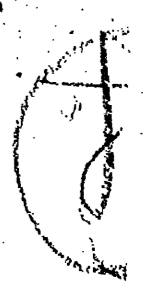
一 水祥丸 (貨物單位之米) (車輛火砲數ハ数)

人員九〇。車輛一三。火砲三。隊貨二一五。折疊舟二。彈藥三〇。
燃料三〇。急食器具數五。彈藥九八。精米四八六。枚急食二二〇。
副食物五八

二 水悦丸 (單位之米) (車輛火砲數ハ数)

人員五四。車輛一五。火砲三。隊貨二五〇。燃料三一。彈藥八七。
器械外七。精米亦亦三二八。急食六五。副食物八六。

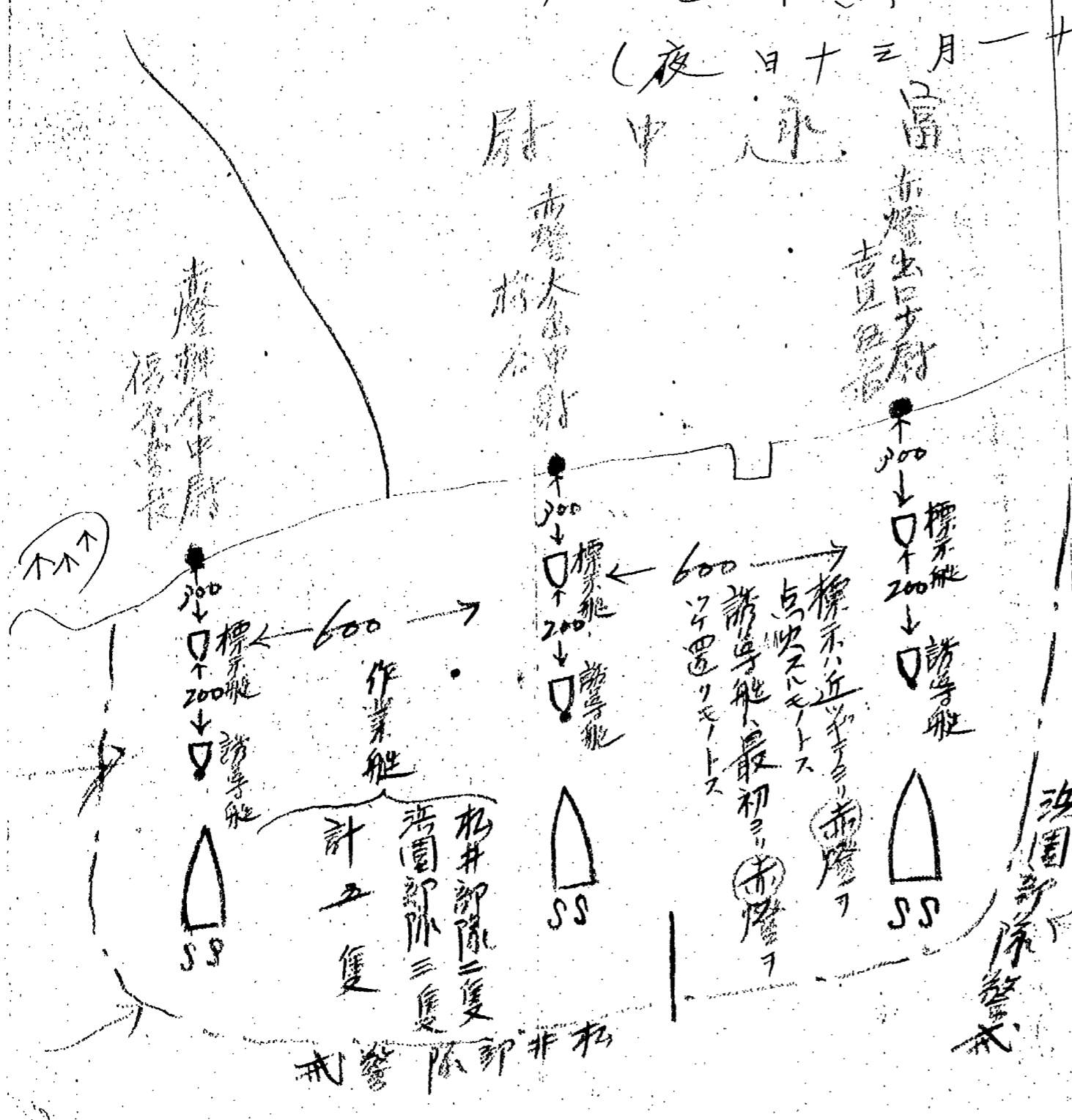
0690



- 一本三日SS三隻三〇〇入港予定
- 二各船泊地標示及誘導、担任部隊以テ実施ス
- 三揚陸点標示、赤燈ヲ以テ示ス
- 四波園、松井部隊、全舟艇ヲ以テ揚陸作業ヲ実施ス
- 五自己担任作業終了後、他部隊作業ヲ援助ス
- 六揚陸作業時向ハ三時向トス
- 七波園、松井部隊、協同作業船ハ波園部隊統一指揮ス
- 八敵隻雷艇ニ対スル警戒、担任及分ハ圖示如シ敵情

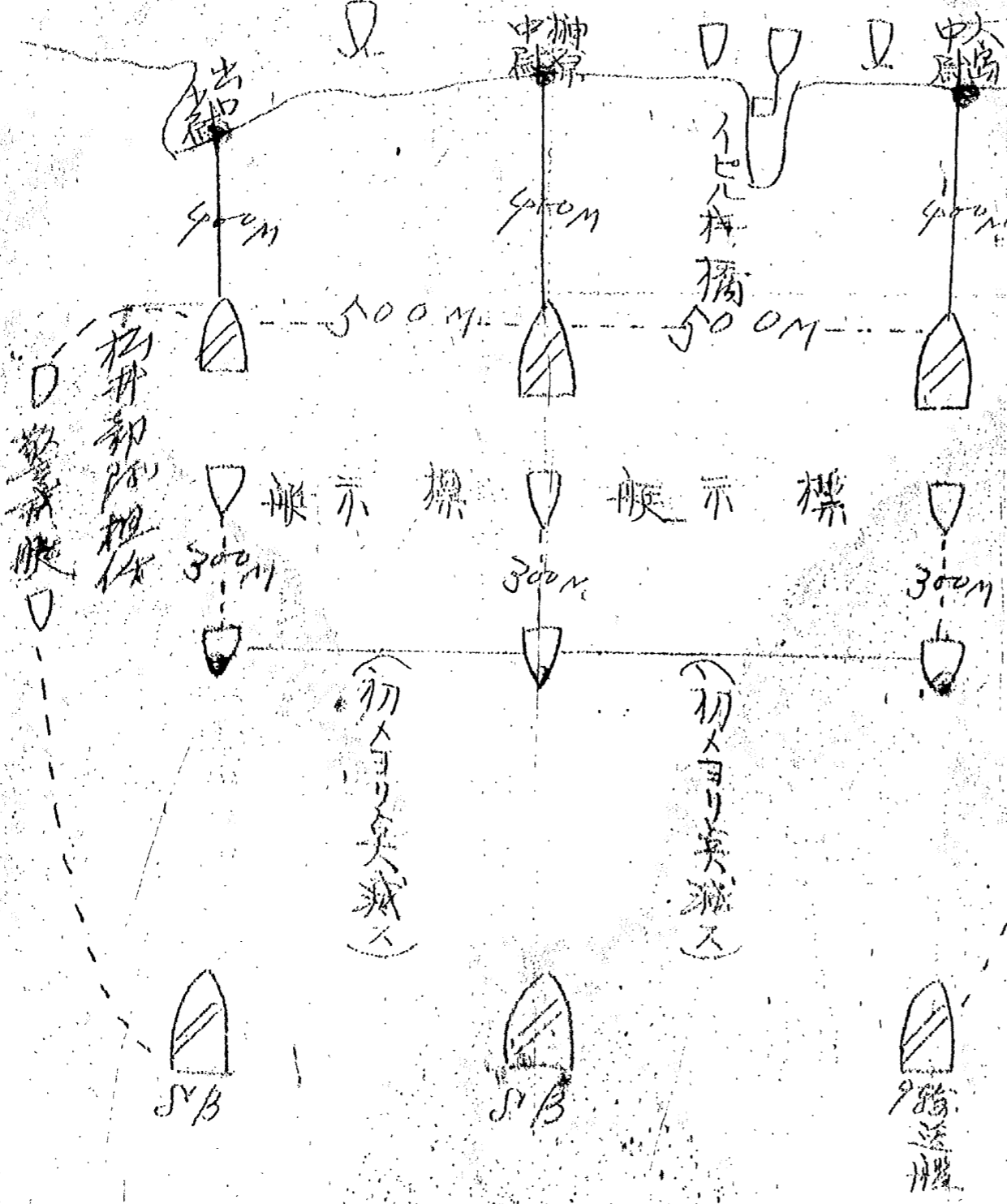
九各隊共揚陸用大舟八本三〇〇〇ト揚陸兵三〇〇〇人

十一月三日 陸揚
 (夜日十三月一十)
 尉中 永富



0692

富永史科



一、本目第一回クワ九号輸送艦三隻三三〇〇及第二回クワ
 二、三三〇〇入港予定あり
 三、右船泊地標示及誘導等ニ担任部隊ニ於テ実施スル
 四、揚陸兵標示赤燈ヲ以テ示ス
 五、敵艦艇等ノ警戒ヲ最モ厳シクスル
 六、揚陸作業時ハ三時頃トス
 七、揚陸作業者ノ使用全舟艇ヲ以テ揚陸作業ヲ実施スル
 八、海軍部隊ニ要因位置ニ救護所ヲ開設スル
 九、右部隊ニ命令書頒布シ、揚陸ヲ実施スル
 十、右部隊ニ命令書頒布シ、揚陸ヲ実施スル

0693

南船戦司令部甲第百五十一号

南船戦隊司令部命令

一月三日 八時
カモツクシ

一、ロビリアン水道附近敵船艇ノ行動ヲ監視ス

二、新隊ハ南船司令部ニ依リ在リテ指揮下ニ於テ

ノ一部ヲ以テロバノホニ基地ヲ強化スルト共ニ新隊

ガインドクニ兵力約一〇〇ヲ派遣シ該地ヲ舟艇基地

トシテ確保スルベシ

三、鬼頭部隊長ハ兵力約五〇ヲロバノホニ又約一〇〇ヲ

ガインドクニ派遣シ速力ニ漲進シ第一項任務ヲ遂行

スルベシ

南船戦隊長
下達後 艦報後 年記 既中
此中 鬼頭 部隊
報告 長 官

0694

中

志船戦司作命甲第之五

志船戦司作命甲第之五

十一月二十日

一、バヤ方面及アルモラックニ於ケル敵艦艇ノ活動漸ク

活潑化シ兆アリ

二、部隊ハ軍命令ニ依リバヤ方面敵艦艇ノ状況搜索

並ニ同方面ノ海上監視ヲ実施セリトス

（隨時）

三、濱園部隊長ハ泉兵団ト密ニ連絡シ海上機動

態ヲカリタリトシバヤ方面敵艦艇ノ状況ヲ搜索スベシ

四、細部ハ別ニ指示ス

志船部隊長 光井大佐

下達 佐 濱園部隊

配布 佐 濱園部隊

報告 先 尚

陸軍

0695

尚船戦司作命甲子五三三

尚船船隊命令

十一月三十日一三〇〇
オムモツク

0696

一、バイバイ方面及、オムモツク湾ニ迄ケル敵艦ノ活動漸ク
活潑化シ兆アリ
二、部隊ハ軍命令ニヨリバイバイニ方向敵艦ノ状況ノ

捜索並ニ同方面ノ海上監視ヲ実施セントス
三、海軍部隊長ハ泉ニ因テ密ニ連絡ヲ随時海上
校勘ニヨリカリダシト以テ敵艦ノ状況ヲ捜索報
告スベシ

尚特ニ本三十日夜内ヲ期シ前項海上監視ヲ実施シ業務雨後
状況ニ依リ随時実施スルモノトス

監視ニ当リテハ特ニ敵艦船ノ行動ニ内シ監視ニ注意セシム
尚船隊長 大佐
下達 中 大佐
下達 中 大佐

尚 大佐



尚船戰司作命甲五八号

尚船船隊命令

一、独立白砲隊第二十一大隊第二中隊ハオムツク

防衛ニ関シ余ノ指揮トニ入ラシメテ

二、独立白砲隊第二十一大隊第二中隊ハ白ムツク

部隊長ノ指揮ヲ受クベシ

三、海園部隊長ハオムツク防衛ニ関シ

自今独立白砲隊第二十一大隊第二中隊

ヲ併面指揮シオムツク防衛ノ強化ニ

任ズベシ

四、余ハゴイセル戰鬥司令ニ在リ

下達情要ニヨリ速修奉還

配布先海園部隊、白砲中隊

陸軍

東海小津村

0697

尚船戦司作命甲第ヲナル

尚船船隊戦司命令

十二日
オモツク戦司

一、野戦高射砲第七十六大隊ハ「オモツク」上陸ノ時ヲ以テ

余ノ指揮下ニ入ラシメラル

二、部隊ハ前項部隊ヲ併セ指揮シ「オモツク」揚搭場ノ

防空並「オモツク」湾沿岸ノ戦備ヲ強化セムトス

三、野戦高射砲第七十六大隊長ハ先ズ第二中隊ヲ速カニ「イビ

」ル東方高地ニ陣地占領セシメ防空ニ任ゼシムベシ

尚第一中隊到着セバ直チニ陣地進入シ得ル如ク所要ノ偵

察並ニ陣地構築シ置クベシ

四、細部ハ別ニ指示ス

五、余ハ「オモツク」戦司命令所ニ在リ

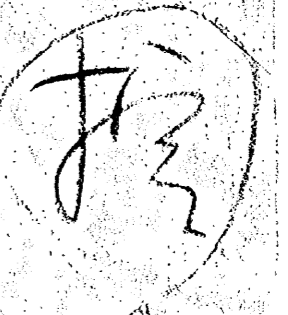
尚船船隊長 光井大佐

下達法 要旨曰達後複写配布

配布先 野戦高射砲第七十六大隊

報告先 尚

0698



尚船戰司作命甲六〇号

尚船舶隊命令

主計四日一五〇〇
オモツク

0699

一、多号ヲ八次作戰輸送船團ノ別紙ノ通り
「オモツク」ニ突入ノ旨宣ハリ

二、部隊ハ前項作戰輸送船團ノ完全揚陸
ヲ実進セントス

三、陸園部隊長松井部隊長本部揚陸
主任ハ率前準備ヲ周密ニシテ難ヲ拂シ

前項輸送船團ノ短切揚陸ヲ実進スル
尚特ニ揚陸用舟艇ノ保安整備揚陸地具

作業人員ノ準備配當等ヲ遺漏ナキヲ
期スル

四、船舶砲兵ヲ射砲隊小島隊同勝野隊
野戰高射砲ヲ七六大隊並ニ指揮下防空隊

ハ本揚陸作戰向特ニ敵機ノ跳梁ヲ封在
シ船團掩護ニ仕ズル

五、余ハ「イセル」戦司命令下ニ在リ六日一五〇〇
揚陸古大ニ到ル
尚船舶隊長先井大佐

下達法要旨ハ達後筆記
配布先 陸園部隊、松井部隊、揚陸隊、
小島隊、勝野隊、本戦司射砲隊

報告(通書)先 尚、三船司、輕重隊

高船載司作命甲子六〇号別紙

備考	第二船団	第一船団			船団次別
第二船団行動ハ予定ナリ 別ニ示ス	美濃丸 夕スマニア丸 空知丸	博衛船五隻	日洋丸	赤城丸 白馬丸	船団内容
	6-7/12		5/11 1130	日マ 三ヲ 時ヲ	着日時
	8-9/12		7/12 1730	揚陸真備考	
		イポール	イポール	オルモツク	
		トス	揚陸時	向午三	

0700

尚船戰司作命第百六号 油部指示

(一) 船団ノ分

一 作業担任区分及揚陸地其揚陸時内ノ別派作業命令等

二 作業人員

① 船内作業員ノ集船時點ヲ充用スルヲ本則トシ各船長
艦二五〇名(各船艦六〇名)ヲ基準トス

② 各船艦担任指揮官ハ入揚ト同時ニ本艦ニ到リ
輸送指揮官ト密ニ連絡シ前項船内作業員ヲ確實
掌持スルモノトス

③ 水切作業員ハ一揚陸地莫ニ最低一五〇名ヲ基準トス
右作業員ハ本部艦隊、勤務隊、系系隊、五揚
陸隊其ノ他予備隊ヲ充用スル人員ハ各船艦隊
ヲ充用ス

尚水切作業員ノ充用區分、揚陸担任主任予メ
計畫進シ万端漏ナキヲ期ス

④ 分設秘匿作業員ノ各補給港廠、輜重隊、上陸部隊
ノ一部ヲ以テ担任スルモノトシ揚陸時點ニ於テ
ノ配当區分ヲ適確ニ計スルモノトス

⑤ 本船デッキマン、ウインチマンノ連続荷役作業不可能
アルヲ予期セラルラ以テ船内ヨリ適格者ヲ
選抜各船艦担任指揮官ノ上陸隊本艦ニ
派遣スルモノトス

⑥ 杉井部隊担任船ハナルモツニ方面分ニ
幽園部隊担任船ハイセルニ方面分ニ三隻トス

⑦ 幽園部隊杉井部隊ヨリ揚陸中ノ管内各艦
用大傘ハ本揚陸隊内ニ限リ全量派兵隊
揚陸ニ使用スルモノトス

⑧ 船団揚行ノ大傘(十隻ノ予定)ハ各担任船ヨリ担任部隊
受領ノ上速ニ掌持指揮官本揚陸作業ニ充用スル
モノトス

但本揚陸隊戦終了後ノ配属ニ因シテ各艦連ス

0701

作業命令

十二月廿一

一、十二月廿一七三。輸送船四隻、海軍輸送艦一隻計

二、各船泊地標示及誘導ハ担仕部隊ニテ実施スベシ

三、揚陸兵ノ標示ハ晝間白旗、夜間未燈ヲ以テ示ス

四、揚陸作業時向ハ十二時内以內トス

五、浪園、松井両部隊ハ全舟艦(警戒用大傘モ充當)及

六、陸上(砲台場)海上(艇工隊)係ハ一團揚陸舟艦ニ乘

七、浪園部隊ハイピル松井部隊ハリマオ揚陸場附近

八、浪園、松井両部隊ハ揚陸用舟艦ヲ夫々担仕揚陸



0702

才防作命第一號

オルモック防衛司令部命令

十二月三日
イピル

一敵、奥雷艇ハ連夜オルモック湾内ニ侵入シ我後方ヲ攪乱

ヲ基圖シアリ

ニ予ハ自今カモテス群島ノ防衛ヲ併セ担任シ後方攪乱ノ敵企圖ヲ封殺セントス

之ガタメ鬼頭部隊主力ヲ招置テ命ゼラレ又「パシヤン」島ニ到着シアル豹兵團一部ヲ同島ニ在ル間防衛ニ関シ區處セシメラル

三鬼頭部隊長ハ部隊ノ主力(兵力約六〇〇名、無線四分隊

ヲ基幹トス)ヲ指揮シ速カニホニンシ島北部「ピラル」附近ニ

上陸シ先ズ該地附近ヲ確保シ該島北方海峡ヲ制圧シテ

ル後ホニンシ島ノ敷定ヲ實施スルト共ニ「パシヤン」島ニ上陸シアル

部隊ヲ指揮(區處)シ同島ノ討伐ヲ實施スベシ

特ニ機會ヲ求メテカモテス群島敵奥雷艇若地覆滅ヲ敢

行スベシ

ホニンシ島上陸後砲兵隊(野砲三門基幹)ヲ同島ニ派遣

シ其ノ指揮ニ入ラシムルヲ

四セブ支部ハ第三項ニ依ル鬼頭部隊ヲ輸送ヲ優先處理ス

ベシ

五予ハレイテ島「イピル」ニ在リ

オルモック防衛司令部 光井大佐

下達法 要旨電報後筆記交付

配布先 鬼頭部隊 在「パシヤン」船舶部隊 同約部隊

報告(通報)先 尚 三三根 セブ防衛司令部 三船司

0703



尚船戦司作命甲第六一第

尚船戦司命令

土音

一 部隊高作命甲第三三第ニ其ヲ結立高射機関砲隊ヲ中隊
 隊高作隊四門ヲ現在地ニ於テ余ヲ指揮ヲ解カヌラハ
 二 物井部隊長ノ配属中ノ前項機関砲四門分隊四門ヲ余
 視察ヲ利用シテハリトキニ輸送シ右側ニ隊長ノ野砲隊ヲ
 三 指揮機関砲隊ヲ射撃セザリトキニ揚陸機関砲
 四 隊機関砲隊ヲ射撃セザリ

尚船戦隊長

武井大造

下達法

機関砲隊

0704

(10)

高船戦司總命申奉 乙 辨

陸軍

高船戦司總命申奉 乙 辨

高船戦司總命申奉 乙 辨

敵上陸用戦車 ランキモノ十五六隻アルヤリ也

海岸ニ舟六隻一三〇〇上陸ヲ開始セルモノ如シ

部隊ハアルヤリ方向ニ射スル敵ヲ戒リニ敵ニルト共ニ

所要ノ搜索ヲ實施セントス

三 濱園部隊長ハアルヤリ方向ニ射スル敵ヲ戒特ニアルヤリ

ニ通ル本道ノ敵ヲ至敵ナラシルト共ニ並ニ

精銳ノ一担ヲ該方面ニ派遣シ敵性

搜索スベシ 高船戦司總命申奉 乙 辨

戦車ノ進一ヲ妨害スベシ

四 濱園部隊長ハ濱園部隊殘兵並ニ射砲及大

隊砲先門ヲ直ニ指揮シ防衛ヲ強化スベシ

五 板野砲隊長ハ

0705

六平八平の戦斗司令所ニ在リ

高船船隊長 光井大佐

下道「怯」命令受領者ニ口達後筆記配布
配布先 濱田部 隊 松野砲隊
報告先 高

0706

オ防作命ヲ三号

光井部隊命令 十一月十八日

一、當面、敵情既知、如シ

尚集團ハ又日薄暮ヲ期シ主カラ以テ「オルモツク」

一部ヲ以テ「オルモツク」東北側ヨリ赤屋根高地ノ敵ヲ

攻撃ス

王冬田砲兵中隊ハ又「タンブゴ」附近ニ陣地ヲ占領シ

又日薄暮赤屋根高地ノ敵ヲ制圧シ今頃部隊突入

後「オルモツク」市街及東南側ノ擾亂射撃ヲ行フ

二、新郷部隊及今頃部隊ノ態勢別紙要圖ノ如シ

三、部隊ハ現陣地ヲ確保シ今頃部隊ノ攻撃ニ協力ス

四、同隊赤屋根高地ノ攻撃ニ協力ス

一、洪園部隊ハ依然主カラ以テ現主陣地ヲ確保シ

一部ヲ以テ「イヒル」ヨリ増援又ハ赤屋根高地ヨリ

後退スル敵ヲ拒止シ軍「オルモツク」攻撃部隊ノ主カ

0707

方面、有利ナラシムヘシ

本戦、斗向勝野隊、校肉銃ニケ分隊配属ス

五、勝野隊長ハ依然現陣地ヲ固守スルト共ニ校肉

銃ニケ分隊ヲ勝園部隊長ノ指揮ニ入ラシムヘシ

六、指揮轉移ノ時期ニ定シテハ別命ス

七、橋津隊、林隊ハ依然現陣地ヲ固守スヘシ

八、勝園部隊ハ攻惠実施迄務メテ推進断ト隊ニ

ヨリ敵兵力ノ林殺ニ努ムヘシ

九、細部ハ別ニ指示ス

十、予ハホルモツヲ戰鬥司令布ニ在リ

ホルモツヲ防衛司令官先井大佐

下達、各隊長ヲ集メテ口達後筆記配布

(勝園部隊ニハ筆記セルモノヲ配布)

配布先指揮下部隊

指示(各隊長) 尚 今坂部隊

20

軍事機密

「オルモツク」湾沿岸防衛計画

昭和十九年十一月
「オルモツク」防衛司令部

0709

本計画ハ防衛部隊ノ素質ニ鑑ミ原則的
事項ヲモ併セ記述ス

本計画ハ防衛部隊ノ素質ニ鑑ミ原則的

事項ヲモ併セ記述ス

防衛司令部

防衛司令官 光井大佐

防衛司令部

0710

オルモック湾沿岸防衛計画

オルモック防衛司令部

第一

方針

一、オルモック及近海附近之陸上敵海軍艦隊附近に襲撃戦況
真ニ己ムラ得テ戦場を於テモオモク夕附遊撃隊保シ軍主力
ノ背後ヲ掩護スルヲ以テ
敵ノ揚陸間隙ノ側北南ニ対スル海上機動攻撃手及陸上ヨリニ挺
進斬込攻撃ヲ以テ敵艦砲射撃を以テ損害ヲ極力減少シ海軍
敵上陸用戦果ノ行動ヲ制限撃滅スルヲ以テ

第二

部署

二軍隊区分及各隊ノ任務

遊撃隊

長 松井少佐

一部ヲ海岸線ニ配置シ敵上陸企圖ヲ監視ス
一部ヲ海岸線ヨリ椰子林中ニ縦長ニ配置シ

0711

松井部隊

機関砲一中隊

高射砲一中隊

野砲一中隊

敵上陸部隊ヲ撃碎ス

主力ハ一地ニ集結シテ遊撃戦ヲ準備防

三司令官命令ニ依リ敵上陸部隊ノ側面

ヲ攻撃シ或ハ逆上陸ヲ実施ス

状況ニ依リ現陣地ノ確保ニ性スルコトアリ

キビル地区隊

長 兵衛園少佐

海軍竹谷中隊

機関砲第一中隊

機関砲第二中隊

機関砲第三中隊

機関砲第四中隊

野砲兵第二中隊(丙欠)

白砲中隊

一部ヲ海岸線ニ配置シ敵上陸企圖ヲ監視ス

一部ヲ海岸線ト主陣地間ニ縦横ニ配置シ

敵ヲ撃滅ス

主力ヲ以テ主陣地ヲ確保シ主トシテ斬之

隊隊ヲ主陣地前ニ敵ヲ破碎ス

機関砲野砲ハ主トシテ敵上陸用舟艇ヲ破

碎ニ使用ス

0712

豫備隊

第五揚陸隊

輜重兵第六聯隊本部及一中隊

独立野砲兵第十聯隊一部

野戰重砲兵一中隊

青木少隊 魚口少隊

浮田隊 箕三少隊

防空隊

長高森隊第七十六大隊長

高射砲隊第七十六大隊

高射砲隊第一中隊

終始泊地及主陣地、防空ニ任

ズ、状況依リ又命令依リ

敵艦船ヲ攻撃ス

第三戰鬥指導要領

一 防衛基幹部隊、常時陣地ニ在リテ防空部隊ト共ニ絶エズ

戦斗ノ態勢ニ在ラシム

二敵ノ上陸企圖ヲ偵知スルニ各部隊ノ揚格其他ノ諸作業ヲ一切

停止シ戦斗配備ニ就カシム

此際直ニ各部隊ヲシテ有カナル連絡將校(下士官)ヲ防衛司

令部ニ出サシム

舟艇一部ノ要員ヲ以テリテオ附近ニ廻航セシメ已ムヲ得ザルトキ隊

長ノ命ヨリ破壊ニ敵ヲ奈セシムス

三敵上陸用舟艇及水陸両用戦車等ヲ近迫スルヤ海岸近ク配

備セル機関銃野砲其他ノ火器ヲ以テ上陸企圖ヲ破碎セシム

此際防空部隊ハ防空戦斗ヲ主任務トシ状況ニヨリ一部若クハ

全力ヲ以テ敵舟艇及戦車ヲ射撃セシム

四敵上陸ヲ開始スルニ各部隊ノ揚格其他ノ諸作業ヲ停止シ隊ハ爆雷ヲ

以テ敵戦車等ヲ爆破スルト共ニ上陸兵ニ斬込

ヲ実施セシム

0714

敵若し上陸ヲ一時中止シ海岸線ヲ確保スル場合ハ陣地
 内待機シ敵ノ動靜ヲ監視スルニ極力防止シ爾
 後斬込攻襲ヲ準備セシム
 五敵若し海岸線ニ地帯ヲ確保セシムル場合ハ主陣地帯ヲ確
 保シ其ノ混乱シタル時機ニ乘シ火力ヲ斬込隊ノ向断ナキ斬込
 ニ依リ主陣地前ニ於テ敵ヲ撃殺ス
 狀況己ムヲ得ザル場合ニ於テモ死闘ヲ要ラシテ主陣地ヲ保持ス
 防空隊ヲシテ狀況ニヨリ敵艦船ヲ射撃セシムコトアリ
 六遊撃隊ハ一部ヲ以テ海岸線附近ヲ確保セシムルト共ニ速ニ海
 上ヨリスル大発ニ依ル敵上陸部隊ノ側背ニ攻襲セシムルト共ニ
 狀況ニ依リ夜間ヲ利用シ逆上陸ヲ實施シ敵上陸部隊ノ背
 後ヲ攻襲シ之ヲ混乱ニ導キ撃滅ス、ソノ要員施ハ防五司令
 官之ヲ命ズ

二又常時一部ヲ以テバカサシガハ川河岸ヲ監視セシム

七 豫備隊ハホルモック市街附近ニ掩シ至兵團ノ背後ヲ掩護ス
ル如ク行動セシムルモ 狀元ヨリ斬込攻襲ニ使用スルニアリ
指揮官ノ位置及行動

一 指揮官ノ位置別紙要圖ノ如ク

二 各級指揮官ノ位置陸軍全圖ヲ察知スルニ直ニ狀元ヲ防正司令部

ニ報告スルト其ニ係ルヲ中止シ防衛ヲ防禦ニ戦斗ノ位置就
クモトス

三 遊撃隊ノ襲撃攻撃ニ依リテ之ヲ指揮ス

四 指揮官ノ位置待ニ上空及海上ノ敵ニ對シ絶對秘匿ヲ保

ルルト共ニ通信器材ノ確保ニ萬全ニ期ス

陣地線及戰鬥地境

一 陣地線及戰鬥地境別紙要圖ノ如ク

左記

1. 海上待ニ彼我艦船ノ状況

2. 戦果及我損害 待ニ現有戦力(兵数、火器、彈薬ノ種類及員数、糧食)

3. 我舟艇ノ状況(總數、使用可能、要修理ニ区分ス)

4. 部隊ノ変更セシ事情、其ノ大要

5. 通信運送ノ状況

6. 其ノ他

情報ハ其ノ確認セシモノ(甲)推測ニ依ルモノ(乙)風説ニ依ルモノ(丙)

ヲ明確ニ区分スルモノトス

定例会報ニ関シテハ別ニ示ス

遂龍衣及斬込

一、遂龍衣、斬込、ハ、川、計、更、ス、ル、モ、主、ト、シ、テ、^{連、續、的}ニ、ヨ、リ、敬

搜索警戒及情報蒐集

一、イビル地区隊及遊撃隊ハ其ノ海岸戰鬥部隊ヨリ監視兵ヲ以テ常時海上ニ於ケル敵動静ヲ監視警戒ス

防衛司令部指揮機關及防空隊ハ山上ヨリ常時海上搜索ヲ実施ス

二、イビル地区隊ハ狀況特ニアルハ方向ノ戦況ノ推移ニ應ジ適時

山上ノ監視兵及斥候ノ派遣ニ依リ海岸線ニ沿リ北上ヲ豫想ス

ル敵情ヲ把握ス、ヨリ際特ニ暁右側支隊ト密ニ連繫ス

三、遊撃隊ハ一部ヲ以テバグサガシ川対岸ノ監視警戒ニ任ズ

四、情報其ノ都度採報シ且。六。〇。一。二。〇。一。八。〇。〇。定期的

ニ報告スルト其ノ關係事項ヲ直接部隊ニ通報ス

定期報告ノ内容概テ左ノ如ク必要事項ハ一併報告スルモノ

トス

- 二 大ナル初威ヲ予ヘ其行動ヲ消極ナラシメ企圖ヲ挫折セシムルト共ニ敵戦力ヲ漸減シ軍遂能衣ノ根基ヲ作爲ス
- 三 各隊ハ必勝ヲ確信シ絶エズ戦意ヲ昂揚シツ、主陣地ヲ確保スル萬策ヲ講ズルト共ニ敵ノ砲爆薬ニ対シテハ無益ナル損傷ヲ避ク
- 四 斬込隊(切)ハ隨時隨所ニ出現シテ敵ヲ奇襲シ其戦力ノ骨幹ヲ破碎シ且心胆ヲ奪ヒテ戦意ヲ消耗セタル如ク実施ス
- 五 斬込隊ハ勇猛ナル將兵数名ヲ一隊トシテ編成シ斬込及爆破ニ必要ナル装備ヲナシテ夜間ヲ利用シ暗識セル通路ニ依リ目標ニ着接シ瞬時ニ其之ヲ破碎スル如ク実施ス
- 六 斬込隊ノ特性ハ神速鬼没ナルニ在リ
- 七 斬込隊ノ編成裝備ニ関シテ別ニ示スモ全隊斬込ヲ実施シ得ル如ク訓練スルモトス

0719

六 斬込隊 攻取自標概不左、如ク選定スルモノトス

七 火砲 戦車 機関銃 飛行機 示公ヨシ全機隊ハ攻撃

2 指揮官 密集セリ部隊ハ地上機隊ナシ

3 自動車類 通信器材 彈藥集積 燃料集積所

4 交通施設

七 斬込隊 突入地ニ公北トテ自動隊以テ陽動偽騙ヲ行ヒ兼

行動ヲ容易ナラシム如ク指導ス

八 敵陣地ヲ推進セリ場合突進力ハ大ナル様護下下外部隊

隊ヲ以テ誘引的ニ進歩ヲ確得シテ遂次兵力ヲ増強スルコト

多ク以テ斬込ニ依リ其小サキ中ニ芽ヲ摘ム如ク戦斗ヲ

指導セシテ攻撃力ヲ内ニシテ其ニ備ヘテ

防 空 隊

一 防空部隊 地上ヲ着地防空ニ任シ敵上陸ヲ企図スル

ハ之ヲ補助シ敵機ヲ求メ下之ヲ撃滅スル状況ニ依リ一部モ

シクハ主力ヲ以テ敵艦船ヲ攻撃セシムル事アリ

- 二 防空部隊ノ対空射撃ハ晝間ノミ實施シ夜間實施スル
場合ハ別ニ示ス
- 三 晝間揚陸ヲ實施スル場合ニ於テハ防空部隊ハ其ノ全火力ヲ
揚ゲテ輸送船並ニ揚陸作業ヲ妨害スル敵機ヲ墜ス
- 四 防空部隊ハ地上ヨリ侵入シ来ル敵ニ対シ自ラ陣地ヲ掩護ス
- 五 防空部隊以外ノ各部隊ハ待ニ示ス場合以外対空戰鬥ヲ實
施セス但シ海岸戰鬥地帯ニ配置セラレタル機関砲部
隊ハ状況ニ依リ対空戰鬥ヲ實施スルモノトス

0721